

科目・コース（ユニット）名： 漢方医学Ⅰ
英語名称：Kampo medicineⅠ

【担当責任者】 田原英一（漢方医学）

分野担当責任者（漢方医学）

湯液：田原英一 鍼灸：鈴木雅雄 生薬：秋葉秀一郎

【連絡先】 湯液：田原英一 e-tahara@fmu.ac.jp

鍼灸：鈴木雅雄 masuzuki@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 前期【必修／選択】 必修,

【授業形態】 講義／実習

【概要】

東アジアの伝統医学は国際的に重視され、世界保健機関（WHO）による国際疾病分類（ICD-11）にも独自の章が設けられた。漢方は古代中国医学が日本に伝来し、1500 年を経て発展した我が国の伝統医学で、湯液（薬物療法）と鍼灸がその両輪であることを認識する。漢方医学は臨床が基本であり、その基軸となる漢方医学的病態診断（証）の基礎と診療方法を学習する。治療手段として湯液では天然物を組み合わせた方剤を使用し、鍼灸では鍼や灸を用いて人体にある経穴（ツボ）を刺激する。診察から治療まで、湯液、鍼灸それぞれの特徴を把握する。臨床効果や機序について、現代科学的なエビデンスを含めて概説する。

【学習目標】

1. 「漢方」とは何を指す語か、歴史的背景と共に理解できる。
2. 漢方あるいは伝統医学に対する国内外の状況を、例を引いて概説できる。
3. 現代における漢方医学の有用性とエビデンスを、例を引いて説明できる。
4. 漢方医学的な生理、病理、病態（証）を示す基本的な用語について理解できる。
5. 漢方医学における四診（問診と身体診察）について、具体的に説明できる。
6. 湯液と鍼灸の治療手段（生薬、薬方、鍼灸施術）の実際を、体験を交えて説明できる。

【教科書】

1. はじめての漢方診療 ノート（第2版）、三瀧忠道、医学書院
湯液臨床の要点を収載。臨床実習でも使用し、卒前から臨床実地まで活用できる。
2. 基本がわかる漢方医学講義、日本漢方医学教育協議会、羊土社
日本の全医学部の漢方担当教員による標準教科書。湯液と鍼灸の要点を記載。

【参考書】

1. はじめての漢方診療 十五話（第2版）、三瀧忠道、医学書院
「はじめての漢方診療ノート（第2版）」の姉妹版で、丁寧に解説している。
2. 学生のための漢方医学テキスト、日本東洋医学会

3. 症例から学ぶ和漢診療学、寺澤捷年、医学書院

4. 漢方概論、藤平健・小倉重成、創元社

5. 漢方 294 処方 生薬解説、じほう

主要な漢方処方を構成する生薬について、成分や漢方医学的位置づけを解説。

6. 経絡・ツボの教科書、新星出版社

7. 鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス、医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

①規定に基づき、原則として3分の2以上の出席を②筆記試験受験資格とする。

②筆記試験：学習目標に掲げた項目について、その習得度を確認する。

・漢方とは何か、概史と現在の位置づけ、具体的な分野を簡潔に述べられる。

・証とその尺度について説明できる。

・漢方医学における診察（病態把握法）の所見と証との関連を説明できる。

・湯液と鍼灸の治療手段の実際を、体験を通して説明できる。

・現代における漢方医学の有用性と、臨床効果の例をエビデンスと共に説明できる。

総点 60%以上、かつ湯液（生薬を含む）・鍼灸領域で各 50%以上を合格とする。

【学習上の注意事項】

漢方医学はその成り立ちが現代医学とは一線を画すため、一般的に流布する先入観を持って学習に臨むことを避けるべきである。

【垂直的統合授業の実施内容】

湯液の臨床（主に3回目）では「医療における漢方の活用と EBM」に関して、医療現場における漢方診療の意義をプライマリケア医の視線で具体的に示す。

【水平的統合授業の実施内容】

鍼灸の臨床（主に5回目）では「伝統医学とサイエンス」にて経穴（けいけつ）部位の解剖と物理刺激に対する神経生理学的働きを理解し、鍼灸刺激が中枢ではどのような反応を起こしているか説明を行う。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

すべての授業を通して、湯液の実臨床を基に、使用する薬（生薬）の実際を知り臨床応用の基礎と効果を学ぶ。また、鍼灸診療の理論と実技を取り入れ、臨床に応用できる基礎を身につける。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/9/2	水	4	(講) 漢方医学とは何か 略史と 概要・診療の実際 「漢方」の意味、現代医療 における意義、病態把握の 基礎、民間療法との相違	田原英一	
2	2026/9/2	水	5	(講) 湯液における理論と診察の 実際 証（漢方医学的病態）の尺 度 漢方診察法、漢方薬と総 合病院での運用の実際	田原英一	
3	2026/9/2	水	6	(講) 医療における漢方の活用と EBM プライマリケア医からみた 漢方の重要性	吉永 亮	
4	2026/9/9	水	4	(講) 生薬とは何か？ 主要な生薬と生薬産地の現 状 薬用部位、選品、加工の実 際など。	秋葉秀一郎	
5	2026/9/9	水	5	(講) 鍼灸医学について 伝統医学とサイエンス	鈴木雅雄	
6	2026/9/9	水	6	(講・実) 鍼治療の実際(手技の基本) 毫鍼の使い方	加用拓己	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
田原英一	教授	会津医療センター漢方医学講座	
吉永 亮	診療部長	飯塚病院東洋医学センター漢方診療科	
秋葉秀一郎	助教	会津医療センター漢方医学講座	
鈴木雅雄	教授	会津医療センター漢方医学講座	
加用拓己	助手	会津医療センター漢方医学講座	

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

1, 2, 3回は医師が担当

4, 5, 6回は鍼灸師、漢方専門薬剤師（実務経験者）が担当